

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	都市・地域整備局景観形成推進費	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	都市・地域整備局	担当課室	公園緑地・景観課	課長 小林 昭		
会計区分	一般会計	上位政策	景観に優れた国土・観光地づくりを推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	景観法 社会資本整備重点計画 経済危機対策 未来開拓戦略(Jリカバリー・プラン)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・平成16年の景観法施行後、景観形成に向けた取組が行われている。社会資本整備重点計画においても、平成24年度までに500地域において景観計画を策定することが位置づけられている。全国における景観法の運用状況を把握するとともに、効果的な協議・指導の方法や新たな景観の創出など、景観法等の効果的な活用のあり方について検討する。</p> <p>・観光等の観点から景観形成を図ろうとする景観行政団体を対象に、公募により、住民や事業者の協力の下景観規制を強化し、良好な景観形成を行う先導的な取組を集中的に支援することにより、良質な民間投資を誘発し、地域の持続的な活性化を図る。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・地方公共団体へのアンケート等により、全国における景観法等に基づく制度の運用状況を把握、分析するとともに、その効果を検証し課題を抽出する。必要に応じて、地方公共団体や学識経験者へのヒアリングや、学識経験者等による懇談会を開催し、景観法の効果的な活用のあり方の検討を行い、検討結果を踏まえ、地方公共団体等の活動に資するよう景観行政アドバイザーブックを作成する。</p> <p>・景観規制を強化しようとする景観行政団体である地方公共団体を公募し、有識者による審査を踏まえ選定し、全額国費による国からの委託調査として、地域の景観ルールづくり、良好な景観形成につながる社会実験など、官民連携による先導的な景観形成に資する取組を実施する。</p>					
実施状況	<p>調査実施件数は以下の通り。</p> <p>平成21年度: 26件 平成20年度: 1件 平成19年度: 2件</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	43	23	228	10	
	執行額	42	22	228		
	執行率	97.3%	96.2%	99.7%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>・発注先の選定にあたっては、透明性及び公平性の確保をはかる観点から企画競争方式による手続きを経た上で、受注者を特定し、請負契約を締結している。</p> <p>・業務の実施にあたっては、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、方策取りまとめに向け調査内容に過不足はないかなどを確認している。</p> <p>・調査終了後、完了時に検査を通じて、受注者より提出のある成果物(報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなど確認をおこなっている。</p>				
	見直しの余地	<p>景観行政を効果的に進めるための協議制度の先進事例の調査、広域景観が必要とされる地域における情報収集・課題抽出等に調査内容を重点化することにより外部に発注する経費を必要最小限とする。また、調達方法については、より競争性の高い手法への移行について検討する。</p>				
予算・監視の・効率化						
補記	【予算科目】	(21年度予算額)	(21年度決算見込額)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・046 景観形成推進費 ・95 景観に優れた国土・観光地づくりの推進に必要な経費 <ul style="list-style-type: none"> ・95016-2122-08 職員旅費 245千円 244千円 ・95016-2123-09 景観形成推進調査費 228,342千円 227,376千円 					

国土交通省
227百万円

・景観法等の効果的な活用のあり方について検討する。
・地域景観づくり緊急支援事業の実施

【企画競争方式・随意契約】

A.(株)三菱総合研究所
24百万円

景観法等に基づく制度の運用状況を把握、分析するとともに、景観行政アドバイザーブックを作成する。

【企画競争方式・随意契約】

B.地方公共団体(25団体)
203百万円

3次元CGを用いた景観シミュレーションの実施、景観計画の素案作成等。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	景観法の効果的活用を通じた良好な景観形成の推進に関する検討業務(景観法等に基づく制度の運用状況を把握、分析するとともに、景観行政アドバイザーブックの作成等)	24			
計		24	計		0
B.松山市			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	松山城下大街道交差点周辺地区立体的景観計画策定による景観形成推進モデル事業(3次元CGを用いた景観シミュレーションの実施、景観計画の素案作成等)	10			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

【別紙】

B.地方公共団体(25団体) 203百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	松山市	10
2	神戸市	10
3	上勝町	10
4	北上市	10
5	熊本市	9
6	美濃加茂市	9
7	江津市	9
8	三田市	9
9	平泉町	9
10	柏市	9